



《女優》1961年

宮本三郎

# 描かれた 女性たち

— そのひと、そのしごと

MIYAMOTO Saburo:  
Portraits of Women – Their Work and Roles

宮本三郎 描かれた女性たち — そのひと、そのしごと

MIYAMOTO Saburo: Portraits of Women – Their Work and Roles

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館 Miyamoto Saburo Memorial Museum

展覧会名 宮本三郎 描かれた女性たち — そのひと、そのしごと  
会期 2020年10月24日(土)～2021年3月14日(日)  
会場 世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館 Miyamoto Saburo Memorial Museum  
〒158-0083 東京都世田谷区奥沢 5-38-13 TEL:03-5483-3836 [www.miyamosaburo-annex.jp](http://www.miyamosaburo-annex.jp)  
主催 公益財団法人せたがや文化財団 世田谷美術館  
開館時間 10時～18時(最終入館は17時30分まで)  
休館日 毎週月曜日(ただし、11/23[月・祝]、1/11[月・祝]は開館、11/24[火]、1/12[火]は休館)、年末年始(12/28～1/4)  
観覧料 一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上、中小生100円(80円)、  
障害者100円(80円)ただし小・中・高・大学生の障害者は無料、介助者(当該障害者1名につき1名)  
は無料 ※( )内は20名以上の団体料金 ※小・中学生は土、日、祝・休日は無料

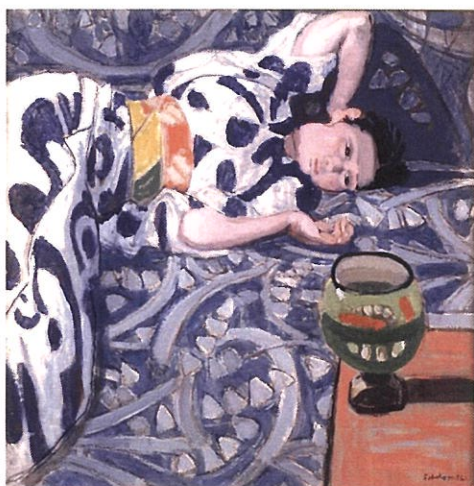
## ◆ 宮本三郎 描かれた女性たち —そのひと、そのしごと

洋画家・宮本三郎（1905-1974）は生涯にわたって、数多くの女性像を描きました。モデルとなった女性たちに目を向ければ、その実像は時代によってさまざまです。絵画上の身体表現の追求のため、要求に応えポーズをとったのは、アトリエに呼ばれたプロのモデルたちでした。戦中の疎開時期など、そうしたモデルの手配が困難な時期には、妻や娘など家族が題材となり、家庭内の場面が描かれています。やがて戦後日本の復興期には、歌手や女優、バレリーナといった、華やかな表舞台上で活躍する表現者たちが多く描かれました。また、浅草の踊り子など、エネルギッシュな都市文化の担い手たちを、舞台裏まで取材し描くこともありました。

作品にあらわされた女性たちは、それぞれ異なる社会的立場を持っています。宮本の絵筆は、そうした「役割」をまっとうする彼女たちの姿を描きながら、次第に、その奥底から輝き発せられるエネルギーをも表す方向性へとむかっていきました。理想化された美の体現というよりも、自らに内在する生の力を画面の外へも表出させるような、逞しさを感じさせる存在としての女性たち—画家・宮本を制作へと駆りたてたのは、そうした女性のなかにある強さだったのかもしれませんが。

宮本三郎の絵画を通して、描かれた女性たちそれぞれの存在と物語に思いをめぐらせてみませんか。

◆ 各画像は広報用として提供しております。ご希望の際は広報担当までお問合せください。



《金魚鉢と女》1936年



《看護婦立像》1941年



《踊子》1962-64年頃



《歌い手》1964年



《假眠》1974年



《薪を運ぶ人》1957年

## ◆ 宮本三郎記念美術館

### ◆ 宮本三郎（みやもと・さぶろう）について

1905年5月23日に現在の石川県小松市松崎町に生まれ、1935年7月より世田谷区奥沢にアトリエを構えた、昭和を代表する世田谷区ゆかりの洋画家です。

川端画学校で富永勝重、藤島武二、また個人的には安井曾太郎に指導を受け、戦前は二科展を中心に発表を行いながら、雑誌の挿絵や表紙絵の制作でも活躍。戦時中は従軍画家として藤田嗣治、小磯良平らとともにマレー半島、タイ、シンガポールなどに渡り《山下、パーシバル両司令官会見図》（1942年）をはじめ、数々の作戦記録画を制作しました。戦後は、熊谷守一、田村孝之介らと第二紀会を設立。生来の素描力を土台に、さまざまに画風を変えながらも、人物を主たるテーマとして制作、晩年は花と裸婦を主題にした豪華絢爛な絵画世界を構築します。1974年10月13日、腸閉塞による心臓衰弱のため、69歳で世界。



撮影 藤原正 撮影年不詳

### ◆ 講演会やワークショップ、コンサートなどの開催について

※現在、新型コロナウイルス感染症拡大抑止のためイベント等の開催は休止しております。詳細については、ご来館前に当館ホームページをご覧ください。

[参考] 2019年の活動



人ひろばvol.44  
「奥沢・玉川の地域の歴史再発見！第2弾」  
(2019年9月8日開催)



子どもとおでかけ美術館  
「ふうけいのおはなし会」  
(2019年11月16日開催)



ニューイヤー・コンサート  
アコルディ弦楽四重奏団  
(2019年1月27日開催)

### ◆ ご来館の際のお願い

※当館では、新型コロナウイルスの感染症対策の実施にともない、お客様にご協力をいただいております。ご来館の際には、当館ホームページの情報をご確認くださいませようお願い申し上げます。

### ◆ 交通案内

東急東横線・大井町線「自由が丘」駅下車／徒歩7分  
東急大井町線「九品仏」駅下車／徒歩8分  
東急目黒線「奥沢」駅下車／徒歩8分  
東急バス（渋11） 渋谷駅～田園調布駅「奥沢六丁目」下車／徒歩1分  
東急バス（園01） 千歳船橋～田園調布駅「浄水場前」下車／徒歩10分  
※当館の来館者用駐車場は、車椅子の方用スペース1台分のみとなります。

### ◆ お問い合わせ先

宮本三郎記念美術館（広報担当）  
Email：miyamoto.annex@samuseum.gr.jp  
TEL：03-5483-3836 FAX：03-3722-5181  
〒158 0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館